

木の家づくりを通じて暮らしを提案する

KoKola**b**.

隔月刊ココラボ通信

NO. **72**
2018.April

完成現場報告 藤枝市 / 『青葉ひよこ保育園』

木の香りのする 温もりのある園舎 —地域木材と職人技術でつくる木の園舎—

「こころぼスクール 2018」 開催します！

みすえる

—触れて・感じて・考える—



送迎用駐車場から建物外観を見る。周辺の木々や広がる青空に合わせ、アースカラーを基本に落ち着いた色合いの外観となった。門扉やアプローチ屋根などもひとつひとつ職人の手仕事で製作した。

『どろんこ太陽を子供たち』をスローガンに掲げ、自然の中で生き生きとした保育を実践しているひよこ福祉会さんの第2園目として、昨年4月に『青葉ひよこ保育園』が開園しました。同市で40年以上前から保育活動をしている経験を生かし、子供たちの生活する園舎は、やはり木造で建てたいという強い考えを持っていました。第1園の園舎も木造で建設し、木の香りや優しき、温かな肌ざわりなど、園児も保育者も木に包まれた心地良さを実感されていましたが、同時に日々のメンテナンスや室内の反響音、採光や通風などの面に対しても少し改善していきたいという要望も持っていました。子供たちが裸足で遊び、手で触れ、木の温もりを感じられる心地よい園舎と合わせて、ストレスとなる音や室内温度、また園児だけでなく保育者にとっても心地よい職場となるように、窓や天井、中庭などに様々な工夫を取り入れて設計を進めていきました。機能性を重視していくと無機質な材料や機械的な設備に頼りがちですが、今回の計画では木の良さを最大限に生かし、デザインの中に機能を隠すという手法で全体をまとめていきました。



今回の園舎建設では、木の空間の心地良さと合わせて、地震や火災に強い木造建築をコンセプトにしている点も大きな特徴です。木材はそれ自体では決して強い材料ではありませんが、住宅建築の技術を生かした職人の手仕事による粘り強い木組みと、一本一本の木材強度を調べ、適材適所で接合方法などを考えた構造計算をおこなっています。また、木造は火に弱いといったイメージがありますが、今回の園舎では、火災の燃え広がりやスピードを抑え、倒壊までの時間を稼ぐことの出来る「準耐火構造」を採用し、木を太く厚く現して使う「燃え代設計」を用いて、木のポテンシャルを最大限に生かした、丈夫で心地よい木造の園舎を実現する事が出来ました。

木の園舎は子供たちの暮らす大きな住まいではありませんが、家のような心の安らぎ空間にプラスして、光や風、窓からの眺めなどを考えて、ちよつとだけ子供たちの五感を刺激する演出もしています。今回の通信では、木の園舎の様子と合わせて、様々な技術と工夫を取り入れたコロボの提案する木の園舎をご紹介します。

木の香りのする 温もりのある園舎

―地域木材と職人技術でつくる木の園舎―

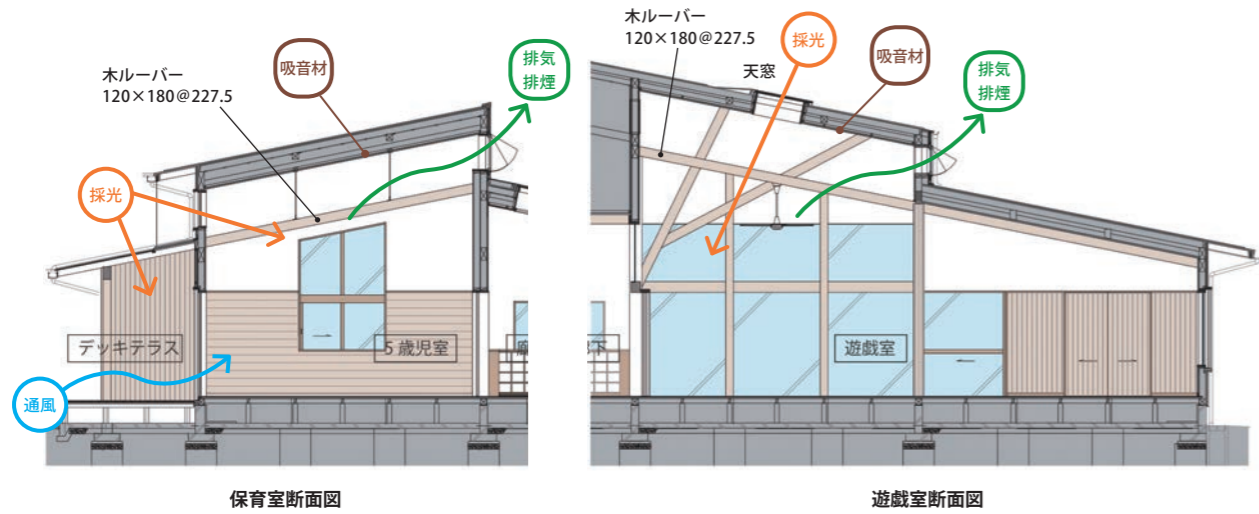
完成現場報告
藤枝市／『青葉ひよこ保育園』
文・写真／コロボ 山崎健治



遊戯室から中庭に向かって。燃え代設計により構造体である柱や梁を現した内部空間。天井の登り梁の隙間から天窓の光が漏れ、木漏れ日の様な明るさが心地よい。柱梁共に大井川水系の杉材、床は松材で統一。

デザインの中に隠された機能性 —木ルーバーによる二重天井—

木ルーバーによる二重天井を設けることで、様々な機能を持たせつつ、心地よい木の空間を乱さないように工夫している。特に反響音を軽減するための吸音材は、機能とは逆に無機質な見た目となるので、天井内部に隠した形で採用した。また、火災時に煙を出すための排煙窓は各部屋に必要なため、二重天井内部の最上部に設けて最大限の機能と意匠性を重視している。



されていますが、今回のような平屋の建物では、無垢製材品でも十分な強度を確保する事ができます。大井川水系という恵まれた地域の木材を生かす事も今回のテーマとして掲げ、木そのものを生かした設計を心掛けました。

構造強度と合わせて重要なのが防耐火性能です。地震に比べて火災を経験した人は少なく、実感の持てない方も多いと思いますが、木造防火の研究である安井氏は、暖味な設計による危険性を指摘しています。木材は使い方次第で良くも悪くもなる素材、性能を理解して適正に設計する事の重要性を教えてくださいました。今回の園舎設計にもアドバイスをいただき、準耐火構造での設計手法について様々な方法を教えてくださいました。壁、天井、屋根などの主要構造部のつくり方は複雑で、ただ石膏ボードで覆えば良いということではありません。木材を守るために火のまわり方などを理解して設計していくことが重要で、施工者への指導も大切になってきます。今回は、木材を被覆する構造だけではなく、燃える速さと厚みを考え、あらかじめ、ひと回り大きな断面の木材を利用する、燃え代設計も採用しています。柱や梁、登り梁などの構造材を室内に現して使う事が出来、木造の力強さも感じられる建物になりました。

上) 構造材に使用した木材は、静岡県産材のJAS製材を使用している。柱、土台は機械等級、その他は目視等級にて全数品質を検査している。

下右) 保育室内部の様子。遊戯室同様に木ルーバーによる二重天井を採用し、採光、通風、吸音の機能を天井内部で確保している。

下左) 給食の配膳室。本棚とベンチを設け、楽しい空間づくりをおこなった。建物中心部のため暗くなりがちだが、天窓や中庭からの採光で明るく気持ちのよい空間となった。



地震と火災に強い 木の園舎

今回の保育園設計にあたり、コンセプト『木の香りのする温もりのある園舎』に対して、木造による準耐火構造を採用し木材現しの空間づくりをすることで、木の香りや心地良さだけでなく、木組みの力強さや木材の美しさを表現した空間づくりを心掛けました。木は良いけど地震や火災に弱いのでは？ と思う方もいると思いますが、木造にも様々な構法や設計手法があります。構造材に使用する木材にも等級があり、含水率やヤング係数などといった性能別にランクがあります。数字が高ければ良い材料ということではありませんが、中大規模の木造建築を設計するにあたり、木材の性能が担保されている事は設計者にとって重要な事で、その数字を元に大きさや使う場所を決めています。今回はJAS製材品を採用する事で一定以上の基準を担保し、適材適所に合わせた使い方をしています。木は同じ種類ならどれも同じだろうと思いますが、一本一本に個性があり、強度のばらつきも様々です。JAS規格などのようにきちんと基準を設けて管理をすることで安心して使う事が出来、無垢製材品も更なる利用の幅が広がっていくと思います。同じ木材でも、集成材やLVL、最近ではCLTと呼ばれる高強度な木質材料も開発

機能を集約した 二重天井

構造体の工夫に加え、心地よい室内空間をつくるために二重天井を設けました。部屋のポリウムを感じさせる天井を木ルーバーとし、その上に吸音材(木毛セメント板)を貼った天井を設けました。天井を板材で仕上げる事も出来ませんが、平坦に張られた板は反響し、子供たちの声を拡散してしまいます。逆に、吸音材をそのまま貼ったのでは無機質な味気ない部屋になってしまいます。この二つの欠点を解決するために、図のような二重天井を提案しました。木ルーバーの上には窓や天窓を設け、採光と通風(換気・排煙)を確保しています。木ルーバーを採用する事で、木材の間を通過した間接的な光が木漏れ日のような明るさとなり、樹の下に居るような心地よさを感じさせてくれる空間が生まれました。家では味わえないちょっとした刺激が、木の園舎と共に思い出深い記憶に繋がっていき、ここで生活したひと時が楽しい思い出になればと気持ちを込めました。



工事現場から子供たちの園舎に —入園式を迎えて—

平成29年4月、青空の広がる快晴の中、新園舎の入園式が行われました。アプローチに植えた桜も開花し、園児たちの入園を祝福しているようでした。慌ただしくも楽しく、そして毎日が新鮮な経験の連続だったプロジェクトも終わりを迎え、設計から現場を通じて本当に貴重な体験をさせていただきました。工事中何度もイメージしていた事、それはこの空間で子供たちが走り回る様子でした。木に触れ、光と風に包まれ、子供たちはどんな笑顔を見せてくれるだろう？ この園舎を気に入ってくれるかな？ 入園式を迎え子供たちの様子を見ると、なんの躊躇もなく、まるでいつもの場所のように遊んでいました。木の園舎は大人たちにとっては特別な空間でも、子供たちにとってはひとつの楽しい場所なのだと感じ、私の不安がすっと退いていきました。ここで過ごす子供たちにとっては、この園舎が当たり前の場所だと感じてもらう事が出来て、設計者としての役割を果たした喜びと共に、今後に繋がる更なる思いを感じました。



アプローチ屋根。今回の大きな特徴となっているアプローチ屋根は、雨天時の助けになればと思い設けた。また、園庭での行事の際の観客席としてベンチも備えている。



中庭に設けた着替えスペース。格子戸の向こうにプールがあり、手前に列柱で隠れた着替えスペースを設けた。内部の様な外部の様な楽しい場所にもなった。



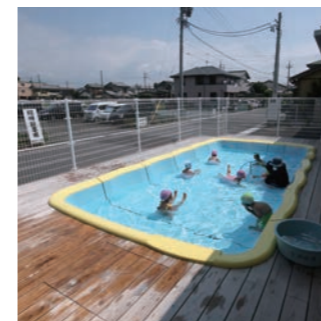
2歳から5歳児室に設けた奥行き1.5間のデッキスペース。ガラス屋根をつくることで雨天でも遊べ、デッキだけでなく保育室にも明かりが差し込むように考えている。

仕様内容

定員	60人
敷地面積	2,023.75m ²
建築面積	781.11m ²
延床面積	649.42m ²
構造	在来工法平屋建て(木造準耐火構造)
構造材	柱・梁：杉材 JAS 目視等級区分 乙種三級 含水率20%以下(静岡県産材) 化粧柱・梁：杉材 燃え代設計JAS 目視等級区分 乙種三級 含水率15%以下(静岡県産材)
屋根	ガルバリウム鋼板縦ヒラ葺き
軒天	杉Jパネル貼30mm(面戸45mm)、杉本実張り12mm
外壁	ガルバリウム鋼板角波タテ貼、リシン掻き落し仕上 杉赤本実板縦貼
外部建具	木製オリジナル建具 桧、ナラ ペアガラス アルミサッシ(ペアガラス)
天井仕上	強化石膏ボード12.5mm下地、木毛セメント板、 杉本実張り12mm、ビニールクロス貼り
間仕切壁	石膏ボード15mm両面貼下地、杉本実張り12mm、 ビニールクロス貼り
床	構造用合板28mm下地、桧本実板張り15mm
内部建具	桧木製オリジナル建具
厨房設備	ホシザキ
住宅設備	TOTO
設備	意匠設計/有限会社ころ木造建築研究所 構造設計・防火技術支援/桜設計集団 設備設計/PLAN-Gエンジニアリング 施工/株式会社杉村工務店 木材供給(構造材・加工材・ルーバー材等) /大井川小径木加工事業協同組合 木工事/株式会社佐野製材所 竣工/平成29年3月



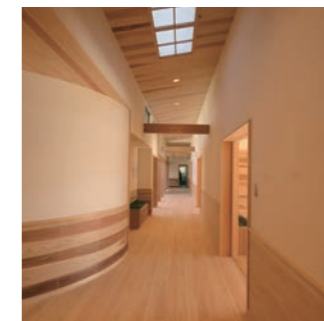
1F平面図



デッキの中に埋め込まれたプール。プールの場所は保育園の悩み所。建物北側の日陰に、固定式で設けた。



カラフルな扉が可愛いトイレ。間仕切り壁にJパネルを採用。木の温かみの感じられるトイレとなった。



天井を高く確保した廊下。障子を付けた天窓から優しい光が入る。R壁は大工の工夫で綺麗に仕上がった。



円形に切り抜いた植栽スペースとデッキが特徴の中庭空間。子供たちがここでぐるぐる走り回るイメージ。

たくさんの希望が詰まったプロジェクト

今回のプロジェクトでは多くの方々の期待や協力、また、未来に向けてのたくさんの希望が詰まった取り組みとなりました。私たちに託しても、木の家づくりで培ってきた仕組みや技術を発揮する場となり、合わせて林業や大工、また様々な人との繋がりが、今回の木の園舎建設の大きな鍵になったように思います。わからない事だらけでスタートしたプロジェクトでしたが、建設委員の方々をはじめ、先輩設計者の技術指導や法的なアドバイス、また木材をはじめとする素材や大工技術の提供など、たくさんの方々の協力を得て完成する事が出来ました。まだまだ未熟な部分もあり、今後更なる工夫や提案も重ねていき、園と共に子供たちを見守っていききたいと思います。

今回の経験は、子供たちの記憶に残る園舎づくり、また、地域の材と職人の力を未来につなげたいという思いが形となり、私たちに託しても転機となるプロジェクトになりました。

木は人に寄り添い、共に時を重ねていく事の出来る素材です。毎日を園舎で過ごす子供たちを、力強く優しく包み込み、ここで育った体験や経験が、子供たちの健やかな未来に繋がっていく事を願っています。

日時/2018年10月21日(日) 13:00~16:00 申込締切: 9月26日(水)



【募集人数】 10名 【参加費】 無料
 【対象】 中学生以上(小学生以下は保護者同伴)
 【場所】 こころぼの家(鳥田市東町1370-4)
 【講師】 税理士 谷口和宏氏(谷口会計事務所 所長)

木の家づくりの費用にはどんなものがあるでしょうか？
 建物費用？ 諸経費？ 税金？ e t c : よくわからないって方が多いと思います。そんなみなさんと一緒に、木の家づくりにかかるお金について勉強していこうと思います。

①木の家づくりにかかる費用って何がある？
 ②家づくりにはどんな税金がかかってくるの？
 ③相続する時、された時にも税金がかかるの？

こんなテーマに興味がある方は、ぜひ参加してみてください。税金や相続、控除についてこの機会に税理士さんに訊いてみましょう。

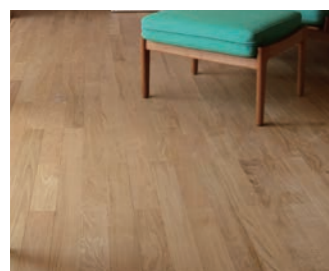
勉強会
 第2回

家づくりにかかる
 お金の話と税金について
 税理士さんに訊いてみよう！

日時/2019年2月17日(日) 9:00~16:00 申込締切: 2月4日(月)



「山桜(ヤマザクラ)」
 心材は褐色でまれに暗緑色の縞模様を呈す、辺材は淡い黄褐色。木肌は緻密で光沢をもつ。やや重硬で反りや曲がり少なく、加工性はよい。



「栗(クリ)」
 心材は淡い褐色、辺材は淡白色。時間が経つと段々色が濃くなってきて一段と輝きが出てきます。水に強く非常に腐れにくいという特性がある一方、水じみ(アク)が出やすいので、水回りに使用する際には注意が必要。

【募集人数】 6組(1組4名様まで)
 【参加費】 500円/1人(保険代含む)
 【対象】 小学生以上(中学生以下は保護者同伴)
 【場所】 ココロボ刻み小屋(鳥田市東町1047-2)

昨年度に続き、こころぼの家づくりで出た床板の端材を準備しております。「ヤマザクラ」と「クリ」はこころぼの家づくりでも定番の樹種。赤褐色の芯材と淡い黄褐色の辺材を併せ持つヤマザクラは、そのコントラストで作品にアクセントを加えてくれます。淡い褐色のクリはオイルを塗ったり時間が経つと、味わい深い仕上がりになります。家の構造や下地に使う杉や桧との組み合わせを楽しんでみましょう。2回目も大工さんとこころぼスタッフをサポート致しますので、お気軽にご参加下さい。

ワークショップ
 第3回

床板の端材を使って
 暮らしのアイテムを
 つくってみよう！
 ～ヤマザクラ・クリ～

■ 申込み方法

当社ホームページのお問合せフォーム、またはTEL・FAX・E-mailのいずれかでお申込み下さい。申込後、詳細を送らせていただきます。
 [TEL] 0547-54-4556 [FAX] 0547-54-4557 [E-mail] office@kokolab.jp [HP] http://www.kokolab.jp/

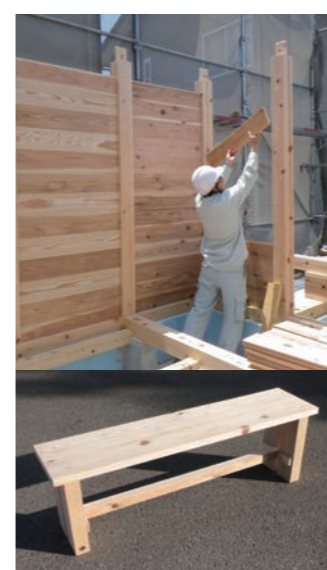
「こころぼスクール 2018」開催します！
 参加者募集！
 みすえる
 ー触れて・感じて・考えるー

日差しも暖かくなり、外に出て何か新しいことを始めたい季節になりました。今年度のこころぼスクールは「みすえる」をテーマに、例年の2回の木工ワークショップの開催に加え、『家づくりにかかるお金の話と税金について税理士さんに訊いてみよう！』と題した勉強会を開催します。毎年恒例の木工ワークショップではこころぼの家づくりで出た端材に加え、広葉樹の床板や落し込み板の端材を準備しています。「木の種類によってこんなに違うものなんだ」「この雰囲気や木目が好きだな」など考えながら作業すると新たな発見ができて楽しいですよ。のこぎりや差し金といった大工さんの手道具を使いながら、木の色合いや肌触り、特徴なども感じてもらえればと思います。また、勉強会では木の家づくりにかかる費用や税金、相続税などのお金についてのお話を税理士さんにしてもらおうと思います。

これから始める木の家での暮らしをみすえていっしょに勉強してみませんか？



日時/2018年6月10日(日) 9:00~16:00 申込締切: 5月28日(月)



「板倉構法 (落し込板壁構法)」
 板倉構法は、柱に彫った溝に杉の30mmの厚い板を落し込んで、耐力壁をつくる工法です。地震が起きた時も粘り強く耐えてくれます。家の構造や下地に多く使う杉は空気を多く含み、軟らかく温かみのある樹種で赤身と白太の差がはっきりとしているのが特徴です。加工もしやすく、使いやすい木材です。

【募集人数】 6組(1組4名様まで)
 【参加費】 500円/1人(保険代含む)
 【対象】 小学生以上(中学生以下は保護者同伴)
 【場所】 ココロボ刻み小屋(鳥田市東町1047-2)

柱と柱の間に杉の厚い板を落としていく板倉構法。今回はその落し板の端材を使ってみましょう。30mmもある板なので、並べるだけで丈夫な天板が簡単に出来上がりますよ。その他どんな材料が出るかはお楽しみですが、樹種によって違う色合いやかたさ、肌触りなどの特徴を感じながら、作品に加えてみてください。当日は大工さんが加工や組み立てのサポートを、こころぼスタッフが樹種の特徴や使い方をアドバイスしながらつくり方をサポートします。この機会に自分の手で暮らしにあったアイテムをつくってみませんか？

ワークショップ
 第1回

落し板の端材を使って
 暮らしのアイテムを
 つくってみよう！

「発酵食のある暮らし」

日本の国産「糀」からできる甘酒・塩麴、お味噌やお醤油・味醂などの発酵調味料には、
 普段のごはんをもっと美味しく楽しく健康的にしてくれる魅力が、たくさんたくさん詰まっています。
 発酵食のある暮らし、始めてみませんか？

塩麴レシピ I 紅芯大根のおこわ



材料 / 4人分
 米…2合
 もち米…1合
 紅芯大根…100gくらい
 白だし…大3
 塩麴…大2
 水…500cc

作り方
 1. 紅芯大根はさいの目に切り、冷凍庫で凍らせておく。
 2. 米ともち米は洗って、30分以上浸水させておく。
 3. すべての材料を土鍋に入れて強火で15分炊き、火を止めて15分蒸らす。(長谷園のかまどさん土鍋使用)
 ★紅芯大根はカットしてから凍らせておき、凍ったまま炊き込むときれいなピンク色のおこわができます。

塩麴と彩り野菜



塩麴と塩と水を3:1:4の割合で合わせ、一日一回かき混ぜて常温保存し1週間ほどで出来上がる「塩麴」と、色鮮やかなお野菜の簡単な漬物は常備しておく、おべんとうやお料理のアクセントに大活躍します！ぜひ作ってみてください

塩麴漬け

紅芯大根小1個に対して、塩麴(大2~3)、昆布茶(大1)、お酢(大2)
 ①大根は薄切りしておく。
 ②ジブロックなどに野菜と漬け材料をいれてよく揉む。
 ③1時間~1日置くと水がでるのでよく絞っていただく。
 ※冷蔵庫で1週間ほど保存可能。胡瓜、蕪、大根、人参、お野菜なんでも！



「madoi」
 発酵食スペシャリスト・調理師

静岡市東鷹匠のアトリエやカフェなどでお料理教室や「発酵ごはんの会」を開催。
 ケータリング、発酵ごはんのおべんとうなども。スケジュールはブログをご覧ください。
 [Blog] <http://www.madoi-biyori.cocolog-nifty.com>
 [instagram] @madoi1011
 [e-mail] tsujimuramadoka@gmail.com

「コロボ設置店」より…

こだわりのお店紹介

bakery labo



～人と環境に優しい、子供が食べて安心安全なパン～
 国産小麦とドイツ産オーガニック小麦を使い、毎日丁寧にパンを焼いています。生地にはマーガリンやショートニングを使わずに、バターのみを使用し、お子様でも毎日安心して食べていただけるよう、素材にこだわって作っています。卵や乳製品を使っていないパンもあるので、お気軽にお問い合わせください。

bakery labo

島田市東町498-6
 [TEL] 0547-37-1355
 [OPEN] 10:00~18:00(ご予約・お取り置きも承ります)
 [定休日] 日曜・月曜
 [URL] <http://bakerylabo.com/>
 [SNS] Facebook instagram

bakery laboさんからお知らせ

当店のイチオシ！ デニッシュブレッド

当店のイチオシは、バターを贅沢に使用し、クロワッサンの生地で作ったデニッシュブレッド！現在は6種類のデニッシュブレッドを焼いています。季節限定商品や新作のパンもあるので、ぜひお試しください。



静岡よみかえる工房



日本の伝統文化である着物。ところが近年の日本では洋服が一般化し着物を着る習慣が無くなり、いつしか着物はタンスの奥に…日本古来の美しい着物や帯をタンスの奥から出してあげたい！そんな思いから静岡よみかえる工房をはじめました。その柄に合わせた形を考えオリジナルデザインで心を込めて手作りしています。また手作り和小物もご用意。ちょっとしたプレゼントにも喜ばれております。

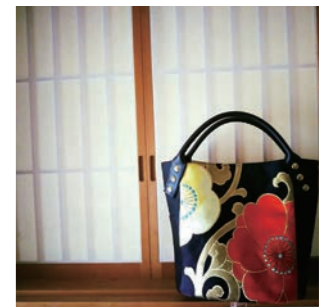
静岡よみかえる工房

静岡市葵区瀬名5丁目12-23
 [TEL] 090-7679-5307
 [OPEN] 11:00~16:00
 [定休日] 土日祝 (ご連絡いただければ開店いたします)
 [URL] <http://yomikaeru.com/>

静岡よみかえる工房さんからお知らせ

オーダーメイドでリメイクバック

タンスに仕舞いっぱなしの思い出の帯はありませんか？捨てることは出来ないでも置いておいても…そんなお悩みを解決いたします！ご予算ご要望など綿密に事前打ち合わせ致します。あなただけのオリジナルバック作ってみませんか？お気軽にお問い合わせください。



KoKolaB.

隔月刊 ココロボ通信 No.72
2018年4月10日発行

発行人 有限会社こころ木造建築研究所
代表 山崎健治

〒427-0011 静岡県島田市東町1047-2
TEL : 0547-54-4556
FAX : 0547-54-4557
http://www.kokolab.jp
E-mail : office@kokolab.jp

担当
山崎良江(「ココロボ通信設置店より…」担当)

編集… Branch 村上幸枝
印刷所… 松本印刷株式会社

※本誌記事の無断転用や
コピーを禁じます。



[購読を希望されます方へ]

当社ホームページのお問合せフォーム又はTEL、FAX、E-mailのいずれかでお申込み下さい。

年間購読料…1,200円 / 一冊定価…200円

(上記料金は発送費として頂いております。)

※当社、もしくは通信設置店では、無料配布しています。

会社概要

当社は、地域木材と職人の伝統技術を用いて木の家造りを行っている設計事務所です。隔月発行の『ココロボ通信』、また『こころぼスクール』やイベントなどを通し、住宅や暮らしを取り巻く様々な情報を発信しております。

編集後記

3月も下旬に入り、暖かく春めいた日が多くなりました。今年は昨年に比べて桜の開花も早く、あちらこちらで満開の桜を見かけます。現在建築中の『テンテンの家』の近くには大きなシダレサクラがあり、毎年開花の時期を気にしていましたが、今年は現場に行くたびに観察することが出来、満開のタイミングで見ることが出来ました。2月中旬から工事を行っていた『こころぼの家』の植栽工事も終わり、早々とミヤマツツジやジュンペリヤーの花を咲かせています。GWに向けてヤマモミジも芽吹き、緑いっぱい庭になると思います。イベントなどの際に合わせてご覧ください。(山崎健治)



Information

🏠 藤枝市『H邸』構造見学会を行います。

ココロボの板倉の家は、杉の厚板を使った「落とし込み板壁構法」と、杉3層パネルを使った「WPウォール構法」があります。どちらも杉板を柱に落とし込んだ構法ですが、プランや敷地条件、住まい手の希望などを伺い選択しています。今回ご覧いただく板倉の家は板壁構法で、縦木摺板と呼ばれる板を使う事で構造認定を受けています。板倉構法の仕組みに興味のある方は是非見に来てください。

- ◆ 日時：2018年6月下旬(日) 10:00~17:00
- ◆ 場所：藤枝市

※見学会の詳細情報はココロボホームページ [http://www.kokolab.jp]でお知らせします。
※予約制となっておりますので、当社までご連絡下さい。(ご予約後、案内図を送らせていただきます)

🏠 完成見学会

焼津市『あけの家』

- ◆ 日時：2018年6月中旬(土・日) 10:00~17:00
- ◆ 場所：焼津市

※予約制となっておりますので、当社までご連絡下さい。

🏠 木の家相談会

木の家仕組み、予算など、何でもご相談ください。

- ◆ 日時：5月12・13日(土・日) 6月9・10日(土・日) 10:00~17:00(予約制)
- ◆ 場所：『こころぼの家』

『こころぼの家』information

『こころぼの家』では毎月テーマを決め、ココロボ通信設置店さんなどに協力をいただきながら暮らしにまつわる展示やイベントを行っています。また四季の暮らし方に合わせた木の家暮らしを体験できるみんなの木の家として、様々な企画をしています。

5月

moegi-iro

5月25日(金) 10:00~16:00

新緑の森を散策したときのような、爽やかな気持ちになれるモノやコトを揃えてお待ちしております。

【静岡よみかえる工房】

がま口作りワークショップ(ご予約優先)
リメイクオーダー相談会

【ポディスペース空】

腸排毒ケア(ご予約優先)

【海馬堂】

ホロスコープ(要予約)

【ふい〜るあ〜とい〜ず】

アロマワックスサシェ他

【CAPU】

自家製手捏ねパンのサンド他

【Synage】

星座から選んで作る香り(随時受付)

*予約先など詳細は、Synage シナーージュブログ(<http://synage.eshizuoka.jp/>)、または、フェイスブックイベントページ「moegi-iro」をご覧ください。



6月

円居のレシピ本特別クラス

6月2日(土)

3月に出版した「旬野菜の発酵ごはん」をもとに、1時間に1品、全5回5品の料理教室を行います。毎回とも違うお料理をデモンストレーションで紹介しながら、ポイントやアレンジなども。1時間ごとに、レシピを一つ、レシピのデリのお土産がついて1,500円。10時〜、11時〜、12時〜、13時〜、14時〜の5回です。詳細は後日ご案内いたします。



- ◆ 場所：『こころぼの家』 島田市東町1370-4

イベントの詳細や今後の展示・イベントなどは、当社Facebookページ(<https://www.facebook.com/kokolab.tuushin/>)でお知らせしていきます。また、見学や体験などについては随時予約を受け付けていきますので、電話やメール、お問合せフォームなどでお気軽にご連絡ください。